

14時30分解禁

平成24年8月 全国百貨店売上高概況

平成24年9月20日

I. 概況

1. 売上高総額	4,195億円余
2. 前年同月比	-1.0% (店舗数調整後/4か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	86社 249店 (平成24年7月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,280,288㎡ (前年同月比:-1.7%)
5. 総従業員数	84,786人 (前年同月比:-5.1%)
6. 3か月移動平均値	1-3月 4.0%、2-4月 5.1%、3-5月 4.7%、 4-6月 -0.3%、5-7月 -1.9%、6-8月 -2.0%

【参考】平成23年8月の売上高増減率は-1.7% (店舗数調整後)

【8月売上の特徴】

4か月連続の前年同月比マイナスだが、減少率は僅か(-1.0%)でほぼ前年並みに推移した。

8月は月間を通して続いた全国的な猛暑の影響から、季節を先取りした秋物商材の動きは弱かったものの、夏物需要が高まった衣料品(+0.2%)やUV対策が背景にある化粧品(+1.4%)を中心に、帽子・サングラス・日傘等の雑貨を含む盛夏商材は活発な動きを見せた。一方、好調に推移してきた高級時計や宝飾品等の高額商材(美・宝・貴:-2.5%)が、前年に大きく伸びた反動でマイナスとなったほか、例年以上に各店の改装工事による一部売場閉鎖が多かったことなどもあって、最終的には前年実績を若干割り込む結果となった。

その他当月の特徴的な動向としては、夏までに主力店の改装が完了している名古屋地区(+1.9%)と神戸地区(+1.0%)が前年実績をクリアしたこと、昨年復興需要で大きく伸びた東北(-3.5%)・仙台(-3.8%)地区が4か月連続で前年を下回ったこと、回復傾向にある訪日外国人は売上・客数共に約4割増(売上高:+41.7%、購買客数:+40.2%)と前月を上回る伸びを示していること、などが報告されている。

【要因】

- (1) 天候：気象庁発表「8月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)
◇ 太平洋高気圧の勢力が日本の東海上で強く、本州付近に張り出したため、全国的に月平均気温が高く、所々で猛暑日となる状態が続いた。また、東日本を中心に晴れの日が多く、降水量が少なかった。
- (2) 営業日数増減 30.6日 (前年同月比±0.0日)
- (3) 土・日・祝日の合計 8日 (" ±0日)
- (4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数128店舗)
①増加した：34店、②変化なし：33店、③減少した：61店
- (5) 8月歳時記(旧暦お盆、夏休み、夏祭り)の売上(同上/有効回答数102店舗)
①増加した：23店、②変化なし：53店、③減少した：26店
- (6) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値/有効回答数170店舗)
①増加する：28店、②変化なし：88店、③減少する：11店、④不明：43店

全国百貨店 売上高速報 2012年08月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
全 国	419,519,744	100.0	-1.0 (-1.5)
10都市	274,240,866	65.4	-0.6 (-0.9)
札幌	10,967,337	2.6	-1.3
仙台	5,945,891	1.4	-3.8
東京	99,527,099	23.7	0.2 (0.1)
横浜	24,303,308	5.8	-1.8
名古屋	24,189,935	5.8	1.9
京都	17,084,713	4.1	-1.6
大阪	55,796,930	13.3	-1.9
神戸	11,804,740	2.8	1.0 (-3.9)
広島	10,322,054	2.5	-2.9
福岡	14,298,859	3.4	-0.1
10都市以外の地区	145,278,878	34.6	-1.7 (-2.7)
北海道	2,394,913	0.6	-0.9
東北	7,650,768	1.8	-3.5
関東	67,125,794	16.0	-1.6 (-3.7)
中部	11,313,085	2.7	-3.1
近畿	15,280,838	3.6	-1.1
中国	10,634,450	2.5	-1.7
四国	7,461,042	1.8	-2.1
九州	23,417,988	5.6	-1.1

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
総 額	419,519,744	100.0	-1.0 (-1.5)
紳士服・洋品	21,134,851	5.0	0.2 (1.5)
婦人服・洋品	83,877,860	20.0	0.5 (-0.1)
子供服・洋品	8,473,819	2.0	-0.1 (-2.1)
その他衣料品	11,095,296	2.6	-1.3 (-1.7)
衣 料 品	124,581,826	29.7	0.2 (-0.1)
身のまわり品	52,235,772	12.5	-0.9 (-1.7)
化粧品	25,310,670	6.0	1.4 (1.0)
美術・宝飾・貴金属	19,404,000	4.6	-2.5 (-2.9)
その他雑貨	17,830,374	4.3	-5.9 (-6.0)
雑 貨	62,545,044	14.9	-2.0 (-2.3)
家 具	6,015,950	1.4	-5.8 (-6.0)
家 電	1,268,631	0.3	3.8 (3.7)
その他家庭用品	14,546,595	3.5	-2.4 (-3.2)
家 庭 用 品	21,831,176	5.2	-3.0 (-3.6)
生 鮮 食 品	27,038,600	6.4	-2.4 (-3.1)
菓 子	37,119,319	8.8	0.3 (-0.3)
惣 菜	28,394,196	6.8	1.3 (0.7)
その他食料品	34,993,238	8.3	-4.5 (-5.0)
食 料 品	127,545,353	30.4	-1.4 (-2.0)
食 堂 喫 茶	16,483,615	3.9	0.1 (-0.3)
サ ー ビ ス	5,302,207	1.3	0.8 (0.2)
そ の 他	8,994,751	2.1	-3.5 (-4.1)
商 品 券	12,520,370	3.0	-8.7 (-9.2)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | -0.6% (店舗数調整後/4か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -1.7% (// /5か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-0.6	-0.4	4か月連続マイナス
札幌	-1.3	0.0	5か月連続マイナス
仙台	-3.8	-0.1	4か月連続マイナス
東京	0.2	0.0	3か月ぶりプラス
横浜	-1.8	-0.1	4か月連続マイナス
名古屋	1.9	0.1	2か月ぶりプラス
京都	-1.6	-0.1	2か月連続マイナス
大阪	-1.9	-0.2	5か月連続マイナス
神戸	1.0	0.0	2か月ぶりプラス
広島	-2.9	-0.1	5か月連続マイナス
福岡	-0.1	0.0	2か月連続マイナス
10都市以外の地区	-1.7	-0.6	5か月連続マイナス
北海道	-0.9	0.0	5か月連続マイナス*
東北	-3.5	-0.1	4か月連続マイナス*
関東	-1.6	-0.3	5か月連続マイナス
中部	-3.1	-0.1	5か月連続マイナス
近畿	-1.1	0.0	5か月連続マイナス
中国	-1.7	0.0	5か月連続マイナス*
四国	-2.1	0.0	2か月連続マイナス
九州	-1.1	-0.1	2か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、衣料品が4か月ぶりのプラス。マイナスは身のまわり品、雑貨、家庭用品、食料品。紳士服・洋品、婦人服・洋品が4か月ぶり、化粧品、菓子が2か月ぶりのプラス、家電が7か月連続、惣菜が3か月連続のプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-1.0	—	4か月連続マイナス
紳士服・洋品	0.2	0.0	4か月ぶりプラス
婦人服・洋品	0.5	0.1	4か月ぶりプラス
子供服・洋品	-0.1	0.0	5か月連続マイナス
その他衣料品	-1.3	0.0	5か月連続マイナス
衣料品	0.2	0.1	4か月ぶりプラス
身のまわり品	-0.9	-0.1	4か月連続マイナス
化粧品	1.4	0.1	2か月ぶりプラス*
美術・宝飾・貴金属	-2.5	-0.1	2か月連続マイナス*
その他雑貨	-5.9	-0.3	5か月連続マイナス*
雑貨	-2.0	-0.3	2か月連続マイナス
家具	-5.8	-0.1	2か月連続マイナス
家電	3.8	0.0	7か月連続プラス
その他家庭用品	-2.4	-0.1	5か月連続マイナス
家庭用品	-3.0	-0.2	4か月連続マイナス
生鮮食品	-2.4	-0.2	5か月連続マイナス*
菓子	0.3	0.0	2か月ぶりプラス*
惣菜	1.3	0.1	3か月連続プラス*
その他食料品	-4.5	-0.4	3か月連続マイナス*
食料品	-1.4	-0.4	5か月連続マイナス
食堂喫茶	0.1	0.0	4か月ぶりプラス
サービス	0.8	0.0	3か月連続プラス
その他	-3.5	-0.1	4か月連続マイナス
商品券	-8.7	-0.3	18か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

平成24年8月 東京地区百貨店売上高概況

平成24年9月20日

I. 概況

1. 売上高総額	995億円余
2. 前年同月比	0.2% (店舗数調整後/3か月ぶりプラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭0.2%(88.3%) : 非店頭0.5%(11.7%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成24年7月対比±0店)
5. 総店舗面積	911,369㎡ (前年同月比: 0.8%)
6. 総従業員数	19,030人 (前年同月比: -0.4%)
7. 3か月移動平均値	1-3月 6.1%、2-4月 10.2%、3-5月 11.3%、 4-6月 2.8%、5-7月 0.2%、6-8月 -0.4%

【参考】平成23年8月の売上高増減率は-2.9% (店舗数調整後)

【8月売上の特徴】

- (1) 東京地区でも盛夏アイテムを中心に主力の衣料品(+3.0%)が好調に推移した。婦人・紳士・子供・その他、全ての分類項目で前年実績を上回っている。
- (2) 都内各店の入店客数は、記録的な猛暑やオリンピックTV観戦による出控え、更には改装工事による一部売場閉鎖の影響などがあった一方で、今年開業した話題スポットの効果で東京への観光客が増加したことなどから、ほぼ前年並みに推移した。
- (3) 食料品についても2か月ぶりのプラスとなった。特に、菓子(+4.9%)については、夏休み期間中の東京観光土産やお盆の帰省ギフト需要が盛り上がり活況であった。
- (4) 化粧品も4.1%増と比較的大きな伸びを示した。この背景には、猛暑によるUV対策需要の高まりのほか、都内数店で行われた化粧品売場の改装効果もある。
- (5) 都内各店の9月中間段階の商況は、長引く残暑の影響で秋物の動きが鈍いこともあるが、複数の店舗で改装効果が出ており、全店平均では前年を上回る状況で推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.6日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)
 - ①増加した: 2店、②変化なし: 7店、③減少した: 10店
- (3) 8月歳時記(旧暦お盆、夏休み、夏祭り)の売上 (同上/有効回答数15店舗)
 - ①増加した: 4店、②変化なし: 10店、③減少した: 1店
- (4) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値/有効回答数20店舗)
 - ①増加する: 3店、②変化なし: 14店、③減少する: 2店、④不明: 1店

東京地区百貨店 売上高速報 2012年08月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	99,527,099	100.0	0.2 (0.1)
紳士服・洋品	5,874,392	5.9	0.3 (6.7)
婦人服・洋品	17,365,745	17.4	2.4 (1.6)
子供服・洋品	1,633,943	1.6	8.2
その他衣料品	2,263,333	2.3	11.6
衣 料 品	27,137,413	27.3	3.0 (3.9)
身のまわり品	13,848,634	13.9	1.0 (-0.2)
化粧品	6,059,419	6.1	4.1 (4.3)
美術・宝飾・貴金属	5,909,159	5.9	-4.2 (-4.0)
その他雑貨	5,563,768	5.6	-10.9 (-10.8)
雑 貨	17,532,346	17.6	-3.9 (-3.7)
家 具	1,780,039	1.8	-4.8
家 電	610,748	0.6	17.1
その他家庭用品	3,628,544	3.6	-7.6 (-8.6)
家 庭 用 品	6,019,331	6.0	-4.8 (-5.4)
生 鮮 食 品	4,512,758	4.5	3.5
菓 子	8,184,805	8.2	4.9
惣 菜	6,255,861	6.3	5.4
その他食料品	7,852,784	7.9	-6.3 (-7.1)
食 料 品	26,806,208	26.9	1.2 (1.0)
食 堂 喫 茶	3,412,327	3.4	-0.6 (-1.4)
サ ー ビ ス	2,132,273	2.1	4.0 (4.8)
そ の 他	2,638,567	2.7	-4.0 (-5.7)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)

※

商 品 券	2,616,099 千円	-20.0 (-20.3)
従 業 員 数	19,030 人	-0.4
店 舗 面 積	911,369 m ²	0.8

営 業 日 数	30.6 日	前年	30.6 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、衣料品が3か月ぶり、食料品が2か月ぶりのプラス、身のまわり品が6か月連続のプラス。マイナスは雑貨、家庭用品。紳士服・洋品、婦人服・洋品、子供服・洋品が3か月ぶり、化粧品、生鮮食品が2か月ぶりのプラス、その他衣料品が2か月連続、家電、菓子7か月連続、惣菜が13か月連続のプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	0.2	—	3か月ぶりプラス
紳士服・洋品	0.3	0.0	3か月ぶりプラス
婦人服・洋品	2.4	0.4	3か月ぶりプラス
子供服・洋品	8.2	0.1	3か月ぶりプラス
その他衣料品	11.6	0.2	2か月連続プラス
衣料品	3.0	0.8	3か月ぶりプラス
身のまわり品	1.0	0.1	6か月連続プラス
化粧品	4.1	0.2	2か月ぶりプラス*
美術・宝飾・貴金属	-4.2	-0.3	7か月ぶりマイナス*
その他雑貨	-10.9	-0.7	4か月連続マイナス*
雑貨	-3.9	-0.7	2か月連続マイナス
家具	-4.8	-0.1	2か月連続マイナス
家電	17.1	0.1	7か月連続プラス
その他家庭用品	-7.6	-0.3	4か月連続マイナス
家庭用品	-4.8	-0.3	2か月連続マイナス
生鮮食品	3.5	0.2	2か月ぶりプラス*
菓子	4.9	0.4	7か月連続プラス*
惣菜	5.4	0.3	13か月連続プラス*
その他食料品	-6.3	-0.5	3か月連続マイナス*
食料品	1.2	0.3	2か月ぶりプラス
食堂喫茶	-0.6	0.0	3か月連続マイナス
サービス	4.0	0.1	3か月連続プラス
その他	-4.0	-0.1	4か月連続マイナス
商品券	-20.0	-0.7	16か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>